

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
小児看護学方法論Ⅲ	2年次 前期	必修	講義	1単位（30時間）	渡辺 しき子※
授 業 概 要					
健康障害が子どもと家族に及ぼす影響を知り、成長発達をふまえた子どもと家族への看護を学ぶ。ここでは急性期にある子ども・手術を受ける子ども・低出生体重児・先天的な問題をもつ子どもと家族の看護を学ぶ。また、子どもと家族が退院後に地域で生活することをふまえた入院時からの看護、地域との窓口である小児科外来における看護、多職種連携・継続看護について学ぶ。					
到 達 目 標					
1. 病気や入院が子どもと家族に及ぼす影響を述べる。 2. プリパレーションの意義と具体的な方法を述べる。 3. 小児科外来における看護について述べる。 4. 子どもの入院環境と入院が必要な子どもと家族の看護について述べる。 5. 保健・医療・福祉・教育及び他職種との連携・協働について述べる。 6. 急性期の子どもや手術を受ける子ども・低出生体重児・先天的問題をもつ子どもと家族の看護について述べる。					
実務経験のある教員					
渡辺 しき子：看護師としての臨床経験をふまえ、健康障害のある子どもと家族へ看護を講義する。（急性期・手術を受ける子ども・低出生体重児・先天的問題をもつ子どもと家族の看護）					
回	学 習 内 容				担当教員
1-5	1. 病気に対する子どもの理解と説明（プリパレーション含む） 2. 病気や入院が子どもと家族（きょうだい含む）に及ぼす影響 3. 小児科外来における子どもと家族の看護（トリアージナースの役割含む） 4. 入院が必要な子どもと家族の看護（入院環境含む） 5. 保健・医療・福祉・教育及び他職種との連携・協働				渡辺 しき子※
6-11	6. 急性期にある子どもと家族の看護 1) 急性期の子どもと家族の特徴 2) 急性期にある子どもと家族の看護 （細気管支炎、気管支炎・急性胃腸炎・川崎病・腸重積症・麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎、髄膜炎）				
12-13	7. 手術を受ける子どもと家族の看護 1) 子どもの手術の特徴と手術前・後の看護 2) 手術を受ける子どもと家族の看護（フォロー四徴症・口唇・口蓋裂）				外部講師
14-15	8. 低出生体重児と家族の看護 9. 先天的な問題をもつ子どもと家族の看護 1) 子どもの疾患に対する家族の受容過程 2) 先天的な問題をもつ子どもと家族の看護 （ダウン症候群・クラインフェルター症候群、ターナー症候群）				外部講師
学 習 方 法					
講義					
評 価 方 法					
〔評価方法〕 科目終了試験					
先 修 科 目					
なし					
教科書、参考書					
〔教科書〕					
系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学〔1〕 小児看護学概論 小児臨床看護総論 <span style="float: right;">奈良間美保 他 医学書院</span>					
系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学〔2〕 小児臨床看護各論 <span style="float: right;">奈良間美保 他 医学書院</span>					
〔参考書〕					
根拠と事故防止からみた 小児看護技術 浅野みどり 編集 医学書院					